

# 横浜市環境管理計画

## 2024年度の推進状況

# 横浜市環境管理計画について

- ・ 横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例に基づく本市の環境分野の総合計画
- ・ 基本政策、基本施策を、市の総合計画である横浜市中期計画、分野別の個別計画と連動させ、総合的に取組を推進

## 3つの 基本政策



総合的な視点による基本政策

## 7つの 基本施策



環境側面からの基本施策

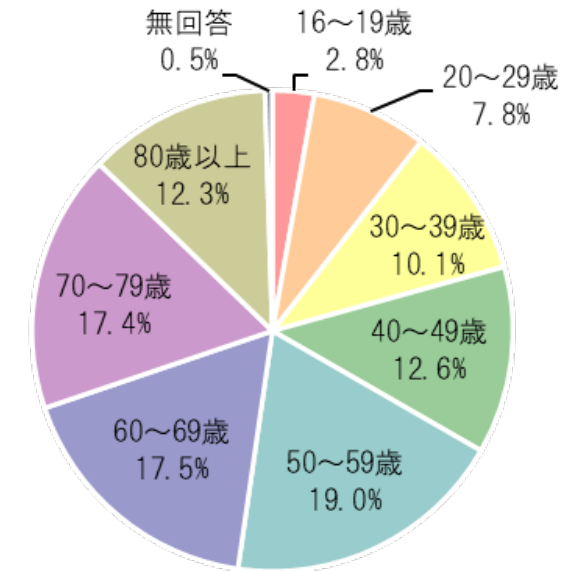
- ・ 計画の推進状況は、環境創造審議会にご報告し、ご意見を計画推進に活かすとともに、年次報告書として、毎年度とりまとめて公表

- ◆計画を取り巻く状況～2025年度の意識調査から～
- ◆2024年度の各政策・施策の推進状況
- ◆年次報告書について

# 計画を取り巻く状況～2025年度の意識調査から～

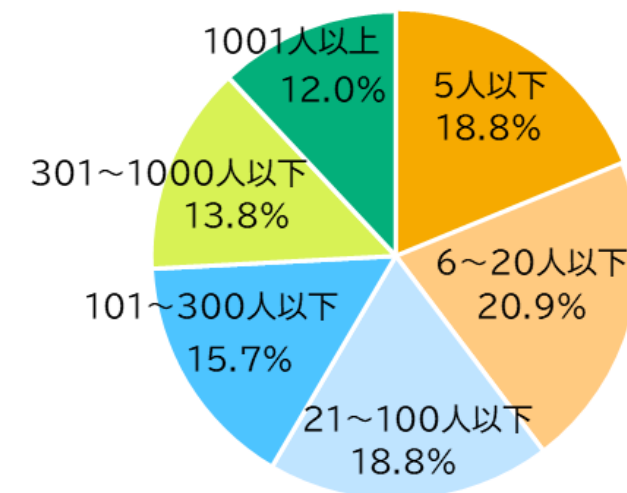
## ① 環境に関する市民意識調査

- ・ 毎年実施
- ・ 市民3,000人(無作為抽出)を対象  
→ 1,469人から回答 (回答率49%)



## ② 環境に関する企業意識調査

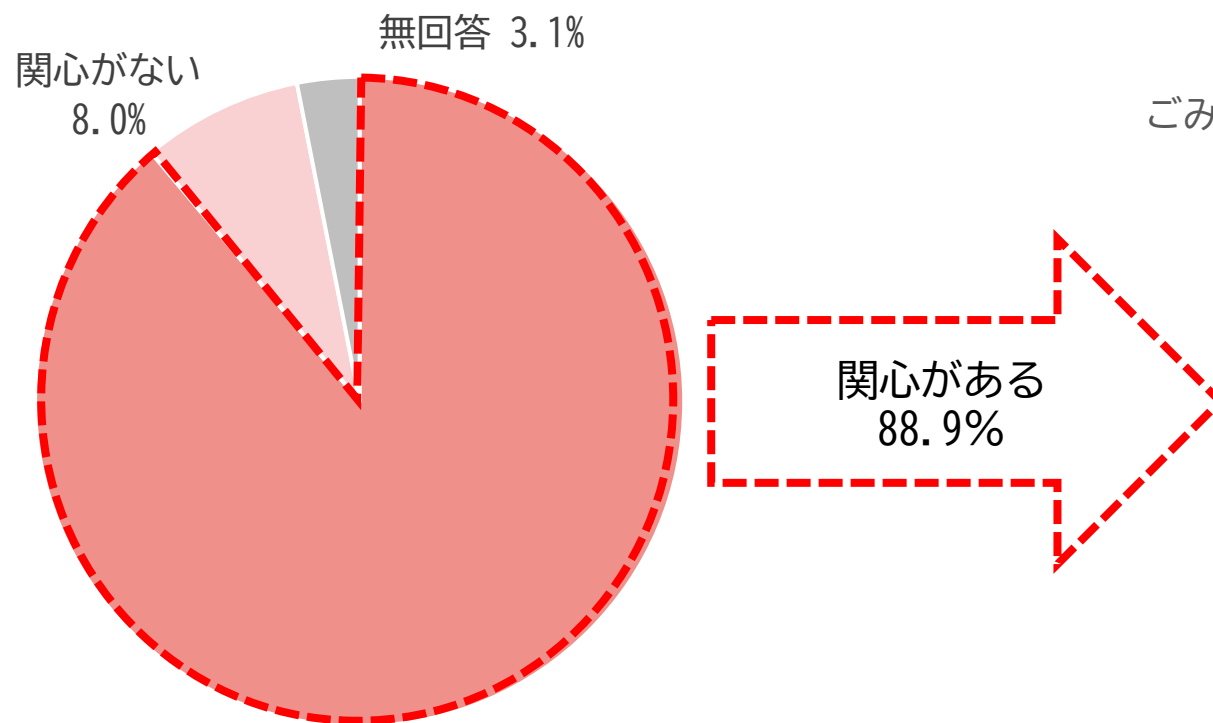
- ・ 4年に1度実施
- ・ 市内企業3,000社(無作為抽出)を対象  
→ 809社から回答 (回答率27%)



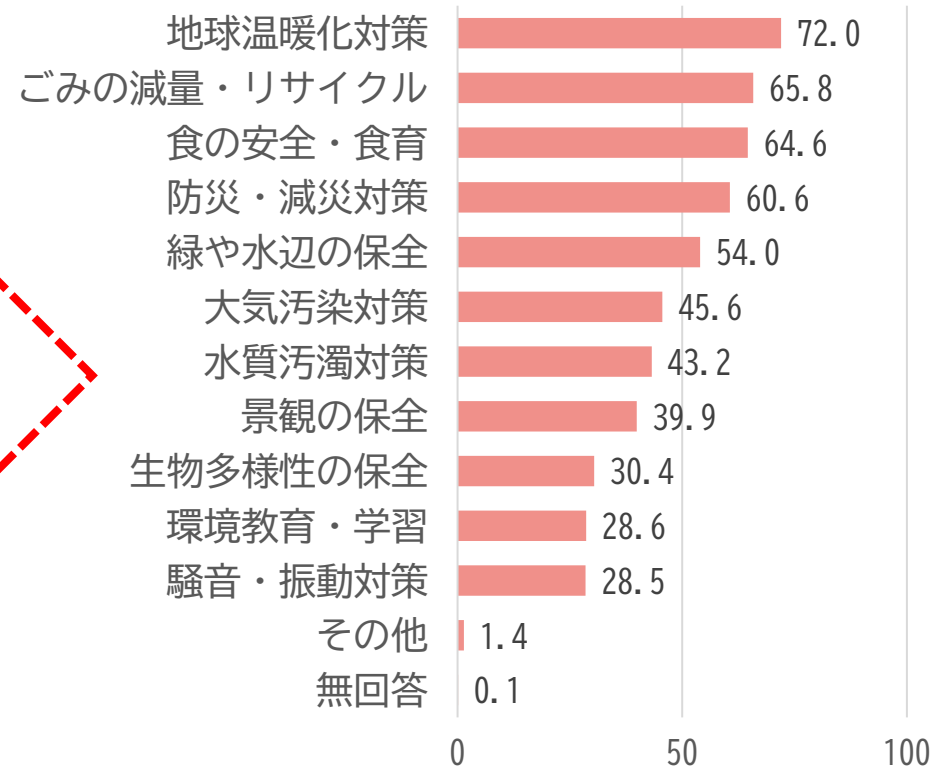
# 計画を取り巻く状況～市民意識調査から～

- ・ 環境や環境の取組について関心がある人の割合は、88.9%

Q 環境や環境の取組に関心がありますか。  
(1つ選択)



Q 関心がある項目を教えてください  
(「関心がある」と答えた人、選択はいくつでも)



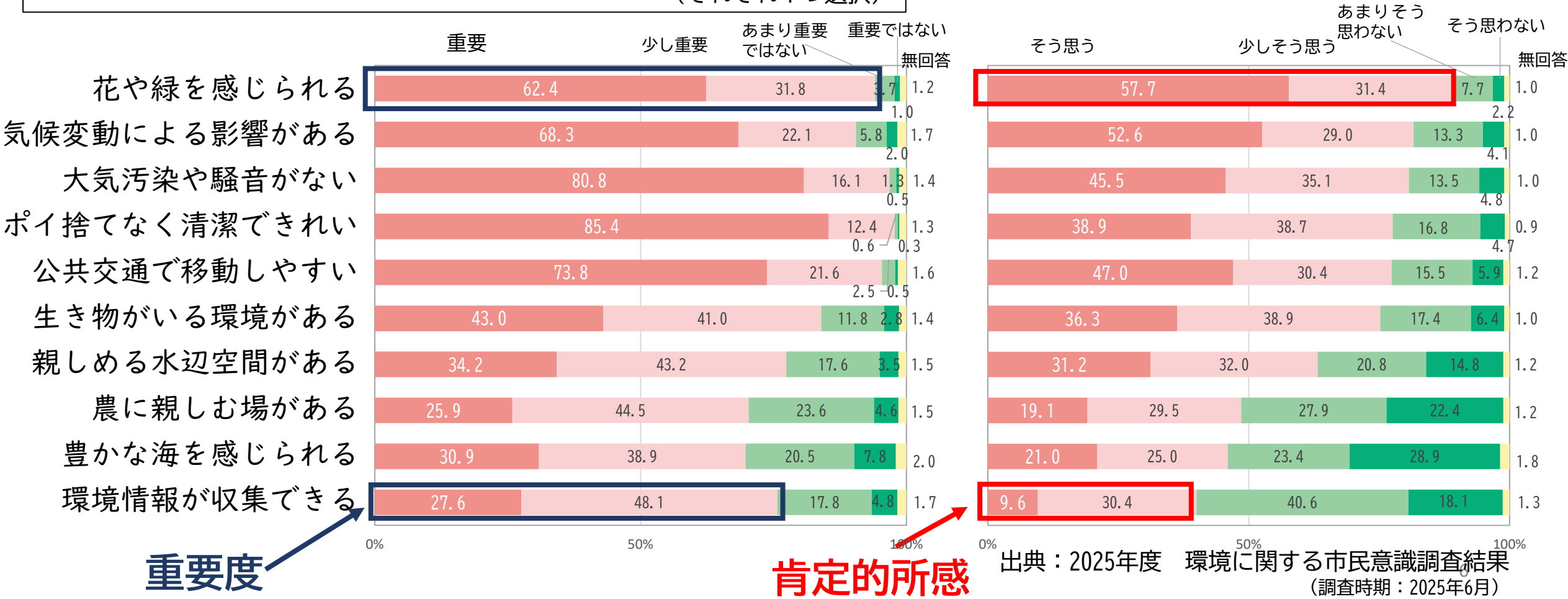
# 計画を取り巻く状況～市民意識調査から～

- 「花や緑を感じられることが重要」と考える人は94.2%※1、  
「花や緑を感じられる」人は89.1%※2と、いずれも高い数値

※1：重要+少し重要な合計値  
※2：そう思う+少しそう思うの合計値

Q 身のまわりの環境についてどれくらい重要ですか  
(それぞれ1つ選択)

Q どう感じていますか (それぞれ1つ選択)



# 計画を取り巻く状況～市民意識調査から～

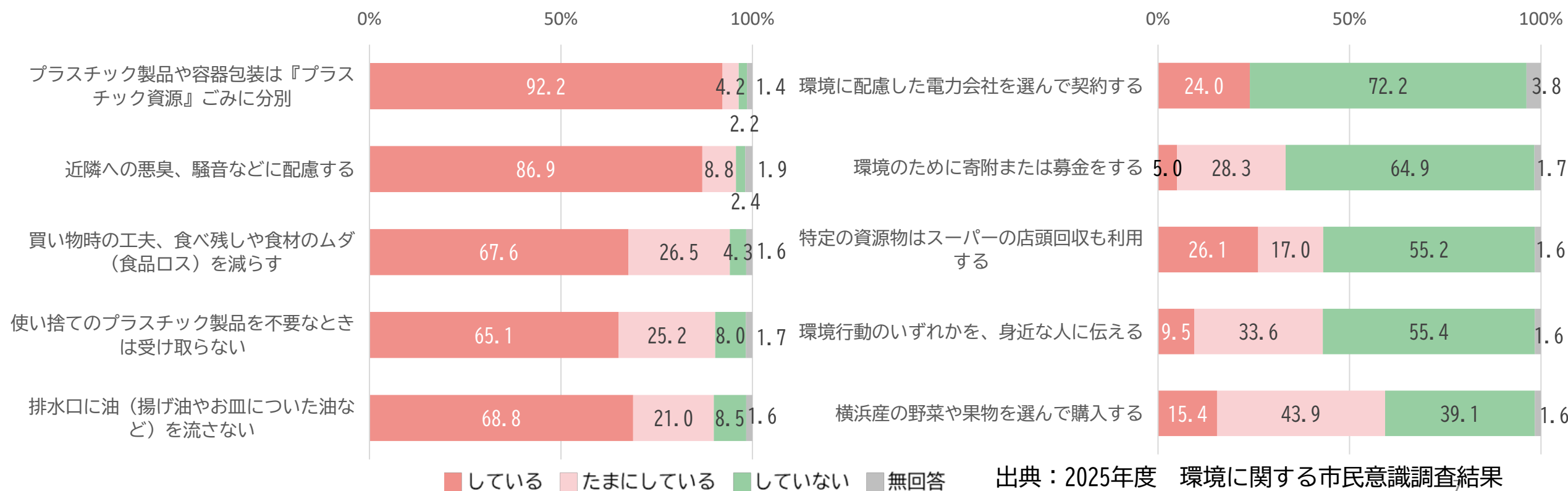
・『プラスチック資源』ごみに分別している人が96.4%※と最多

※：している+たまにしているの合計値

Q 普段、次にあげる個人でできる環境行動をしていますか（17項目についてそれぞれ1つ選択）

環境行動をしている人の割合が高い項目

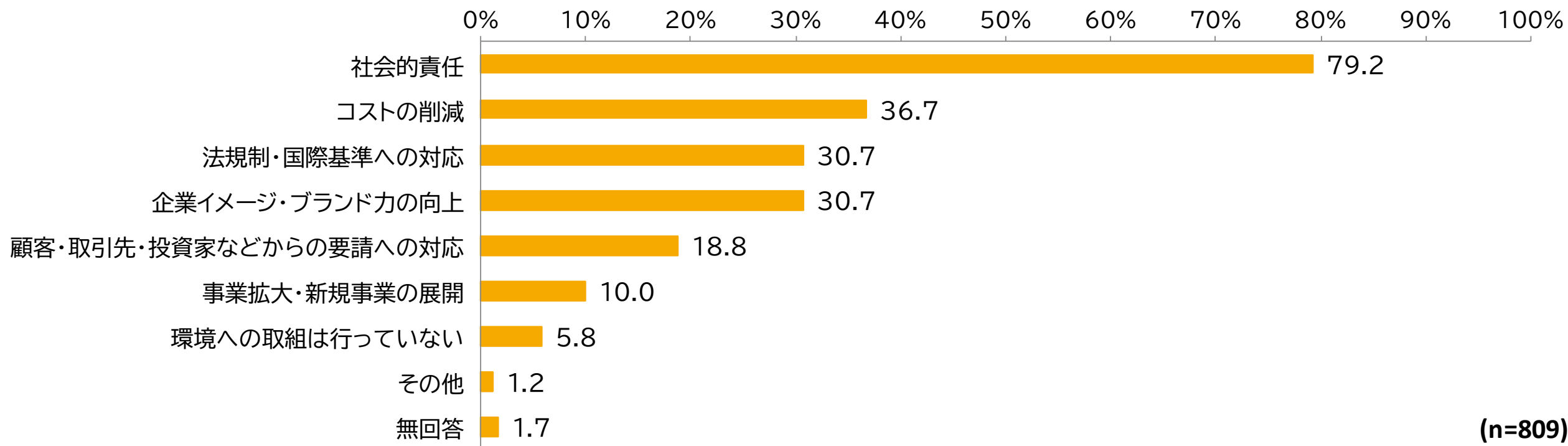
環境行動をしている人の割合が低い項目



# 計画を取り巻く状況～企業意識調査から～

- ・ 環境への取組を行う目的は、「社会的責任」が79.2%で最多

Q 貴社の事業活動において、環境への取組を行う目的は次のうちどれですか  
(選択はいくつでも)



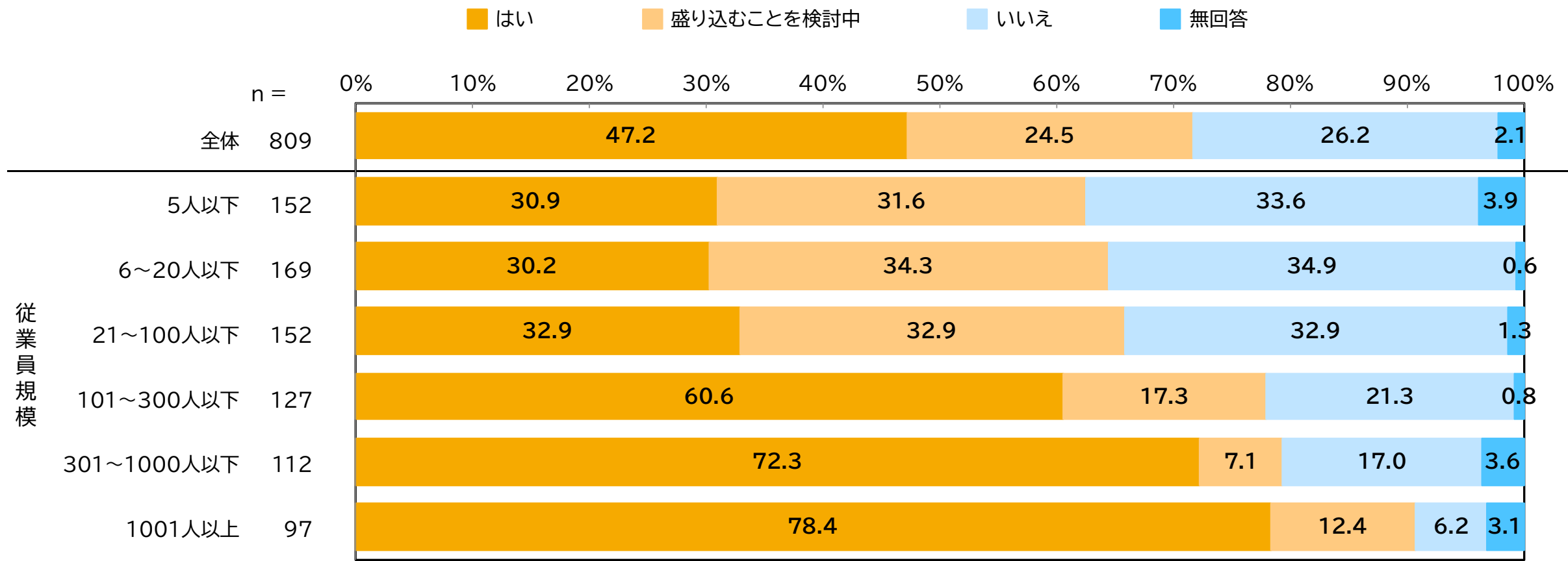
(n=809)



# 計画を取り巻く状況～企業意識調査から～

・ 前回(2021年度)と同様、71.7%※が前向きな回答 ※：はい+盛り込むことを検討中の合計値

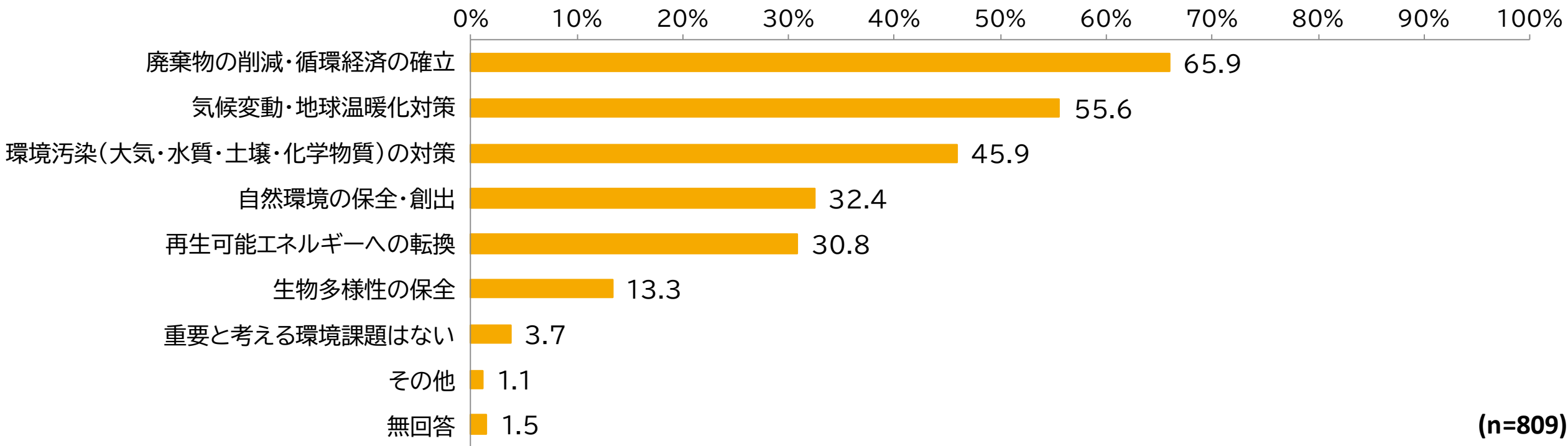
Q 経営上の方針に、環境への配慮や取組・目標を盛り込んでいますか（1つ選択）



# 計画を取り巻く状況～企業意識調査から～

- ・重要と考える環境課題は、「廃棄物の削減・循環経済の確立」が65.9%で最多

Q 貴社の事業活動を継続する上で、重要と考える環境課題は次のうちどれですか  
(選択はいくつでも)

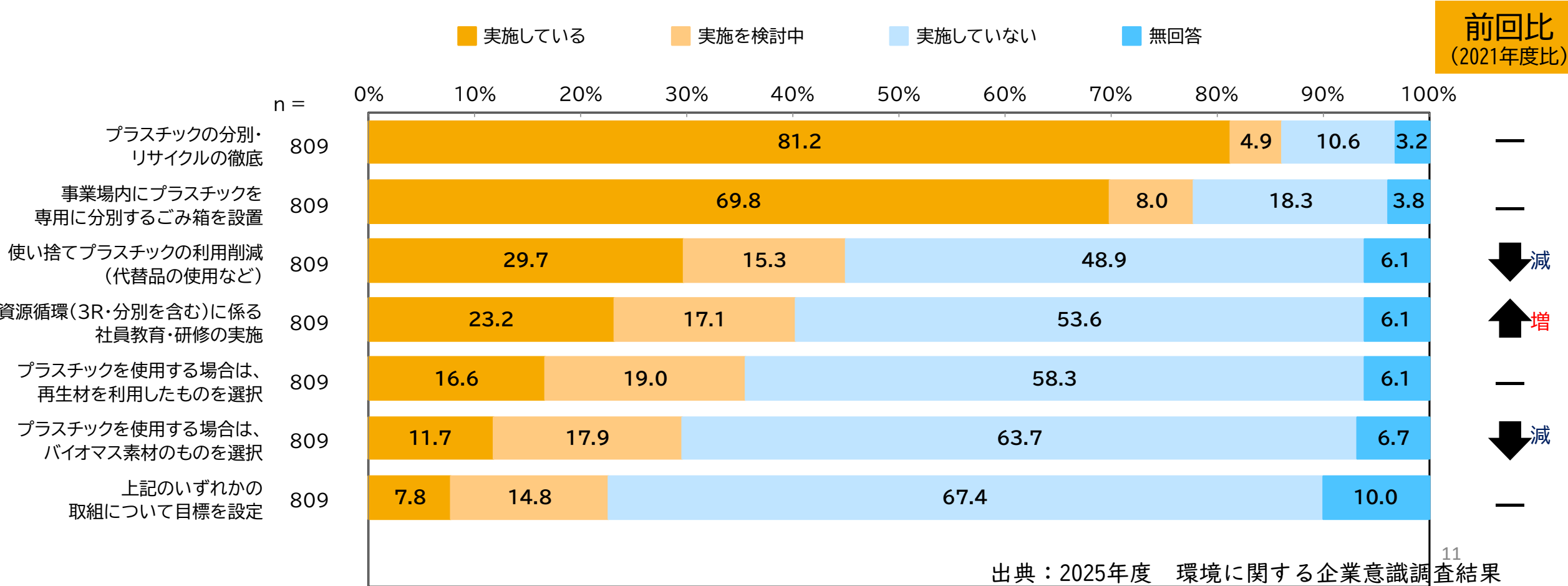


(n=809)

# 計画を取り巻く状況～企業意識調査から～

・「プラスチックの分別・リサイクルの徹底」を実施している割合が81.2%で最多

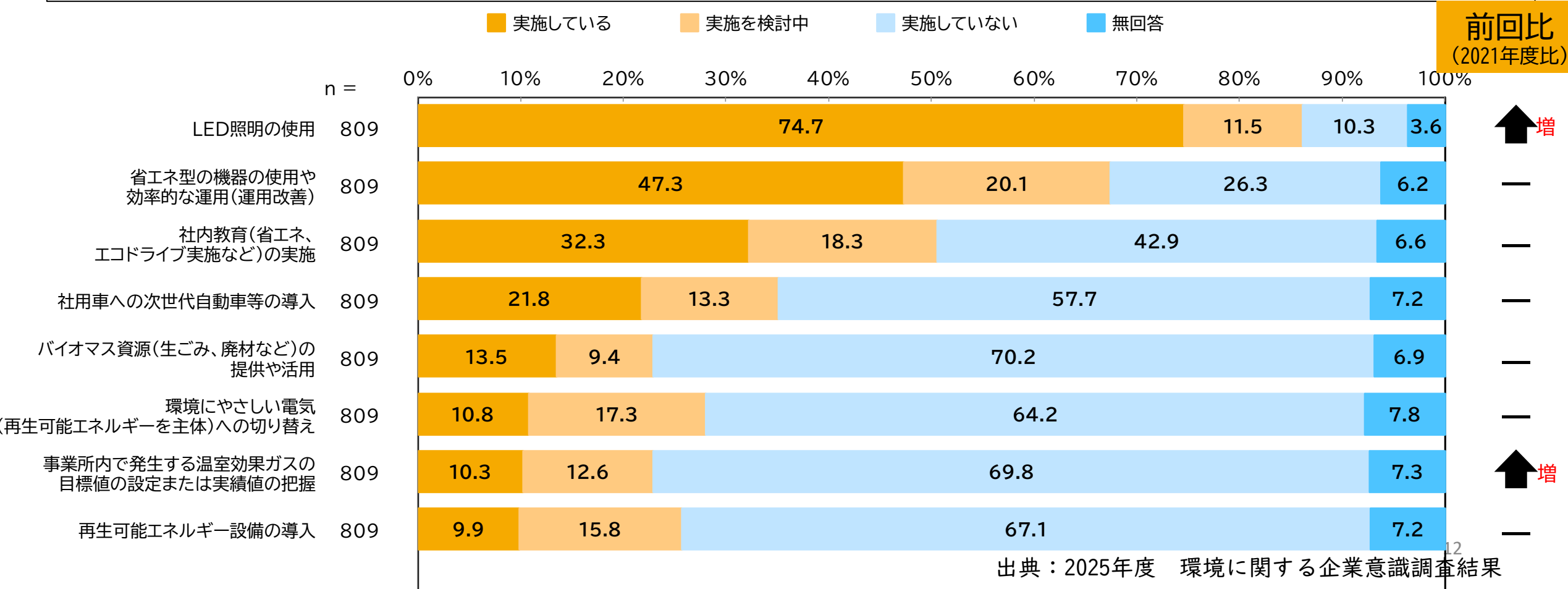
Q 貴社では、次に挙げるプラスチックの資源循環に向けた取組を行っていますか  
(それぞれ1つ選択)



# 計画を取り巻く状況～企業意識調査から～

・「LED照明の使用」を実施している割合が74.7%で最多

Q 貴社では、次に挙げる脱炭素化の実現に向けた取組を行っていますか  
(それぞれ1つ選択)



# 2024年度の各政策・施策の推進状況

# 各政策・施策の推進状況

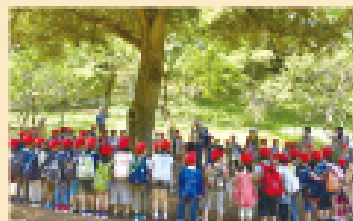
## 総合的な視点による基本政策

Policies from Cross-  
Sectional Perspectives

多様化・複雑化する環境問題に対応するため、環境の視点だけでなく、様々な分野と連携して総合的・横断的に取り組みます

### 環境と 人・地域社会

Environment and  
Citizens/Local  
Communities



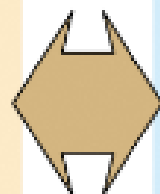
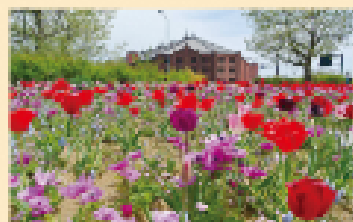
### 環境と 経済

Environment and  
the Economy



### 環境と まちづくり

Environment and  
Town Development

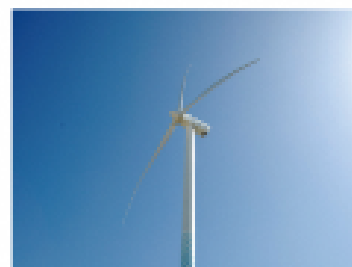


## 環境側面からの基本施策 Policies from an Environmental Aspect

個々の環境課題に着実に対応する7つの基本施策を掲げています。環境行政の基軸である「地球温暖化対策」と「生物多様性」は重点施策として取り組みます。

### 地球温暖化対策

Global Warming Countermeasures



### 生物多様性

Biodiversity



### 水とみどり

Water and Greenery Management

### 資源循環

Resource Circulation

### 都市農業

Urban Agriculture

### 生活環境

Living Environment

### 環境教育・学習

Environmental Education/Learning



# 基本政策1 環境と人・地域社会

環境にやさしいライフスタイルの実践や地域の環境活動を支援

本編 p.14～



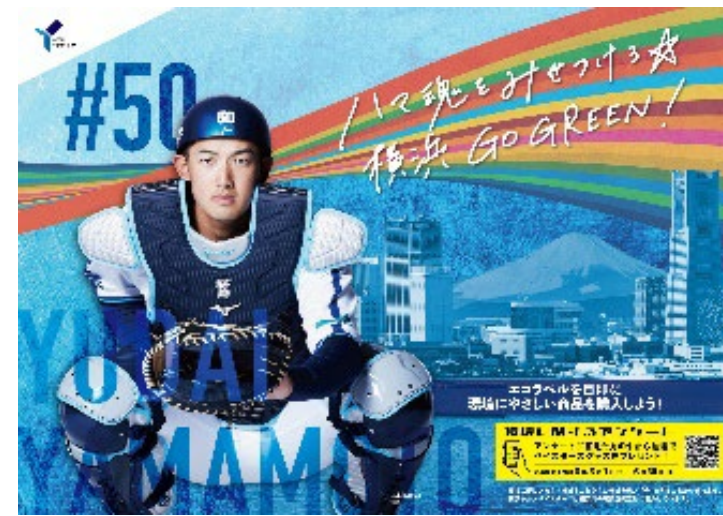
- 愛護会などの市民団体・学校・事業者による、良好な環境の保全活動を支援
- 地域で積極的に環境保全の取組を行う事業者・団体を表彰
- 市民の環境にやさしいライフスタイルの実践につなげるための広報や、SNSによる情報発信を推進
- 18区役所では、地域特性を踏まえた取組を展開



森づくり体験会



環境教育出前講座



横浜DeNAベイスターズと連携した  
環境行動啓発ポスター 15

## 基本政策2 環境と経済

環境分野の取組による市内経済の活性化と地域の賑わいづくりを推進

本編 p.20～



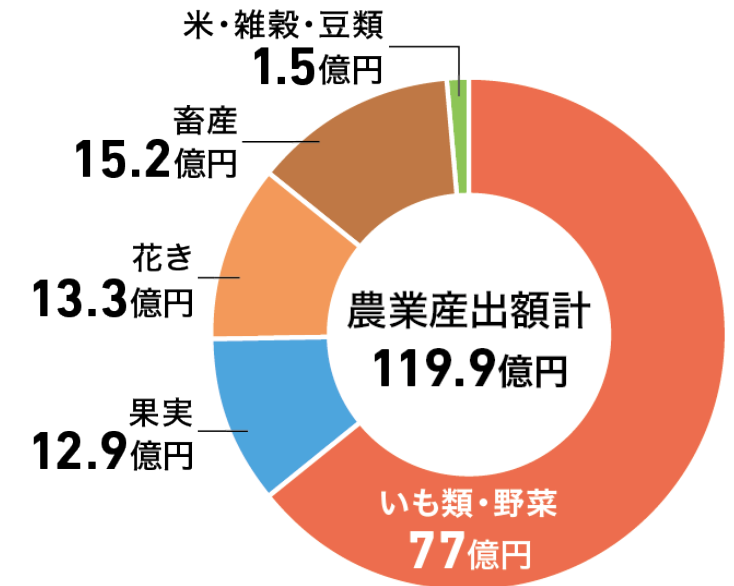
- 再生可能エネルギーの普及、電気自動車等の普及といった地球温暖化対策の推進
- 地域資源や景観を活かし横浜の魅力を発信、にぎわいを創出
- 新興国等の環境課題解決に向けた国際技術協力・海外インフラビジネス展開支援
- 市内産農畜産物の地産地消に取り組む事業者を支援



横浜フラワー&ガーデン  
フェスティバル2024



インドネシア国における  
安全な24時間給水に向けた技術協力



横浜市の農業産出額  
(2023年)



# 基本政策3 環境とまちづくり

環境と調和・共生した、環境にやさしく災害に強いまちづくりを推進

本編 p.26～



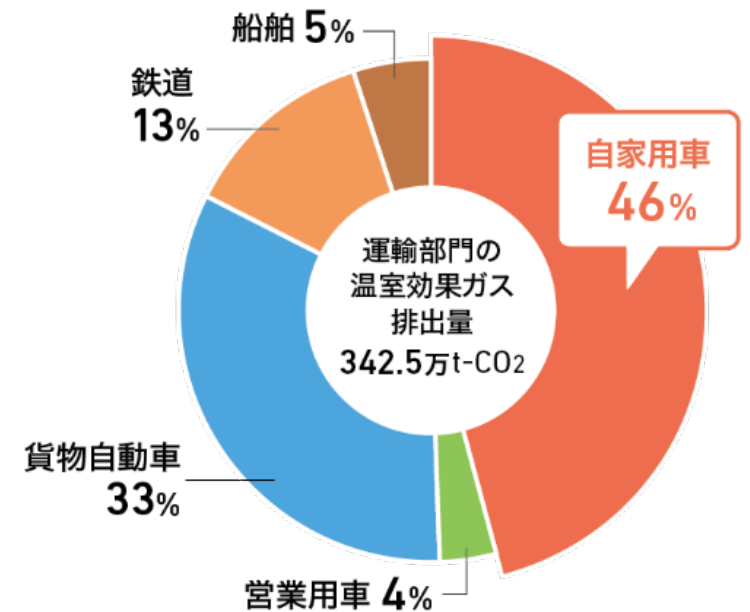
- 都心臨海部では横浜港の脱炭素化への取組等、物流やエネルギー一面から環境負荷低減
- 郊外部では連節バスおよび地域の主体的な取組による地域交通の導入
- 自転車利用環境の整備の推進
- 河川改修や雨水幹線整備、グリーンインフラの取組など災害に強い都市形成を推進
- 環境に配慮した住宅・建築物の普及



地域の主体的な取組による  
地域交通の導入  
(戸塚区ひがまた号)



木造で整備した  
東野中学校武道場



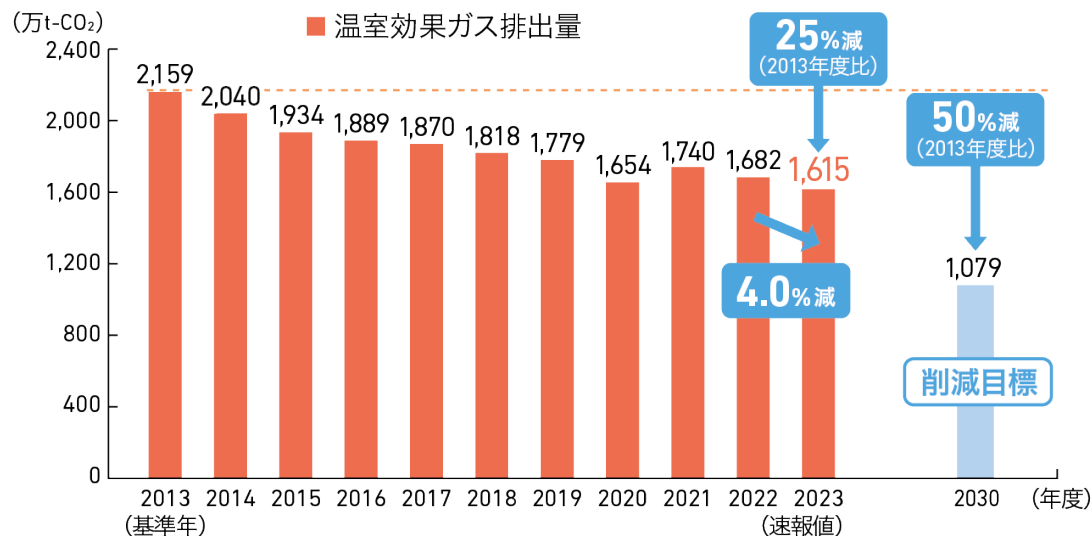
市域の運輸部門の温室効果ガス排出量内訳  
(2023年度速報値)

# 基本施策1 地球温暖化対策

本編 p.34～



- 省エネの進展によるエネルギー消費量の減少及び再生可能エネルギー導入拡大に伴う温室効果ガス排出量の減少
- PPA事業による市立学校等への太陽光パネル設置
- EV用急速充電器の公道設置



横浜地域域の温室効果ガス排出量の状況と削減目標



PPA事業で市立学校に導入した太陽光発電設備



中区新港中央広場公道充電ステーション

## 環境目標の達成状況

数値は2023年度、( )内は2022年度値

温室効果ガス排出量

1,615 (1,682) 万t-CO<sub>2</sub>

2013年度比 25%減

2030年度までの目標値

2013年度比で50%減

エネルギー消費量

196 (207) PJ

2013年度比 23%減

2013年度比で34%減



## 基本施策2 生物多様性

### 生物多様性横浜行動計画（ヨコハマbプラン）

本編 p. 40～



- 多様な動植物などの生き物の生息・生育環境の保全を推進
- 市民が身近な自然や生き物に触れ合い、楽しみ、学ぶ機会を創出
- 生物多様性に配慮した行動をとる市民や企業等を増やすための表彰・情報発信



ライチョウ  
(動物園における種の保存)



外来生物を学ぶ「ザリガニ調査隊」  
(金沢動物園)



第31回横浜環境活動賞  
受賞者の皆様

#### 環境目標の達成状況

水田保全面積	112.5	(111.1) ha
動物園における環境教育・学習の実施	673	(597) 件
生物多様性保全に取り組む市民団体や企業への表彰	15	(一※) 団体

( ) 内は2023年度値

※：2023年度は開催時期  
変更により未実施

## 基本施策3 水とみどり

- 樹林地の保全や市民が実感できる緑の創出・育成
- 水循環の再生に向け雨水貯留などの取組を推進

### 環境目標の達成状況

( ) 内は2023年度値

緑被率 (2019年度調査値)

27.8 %

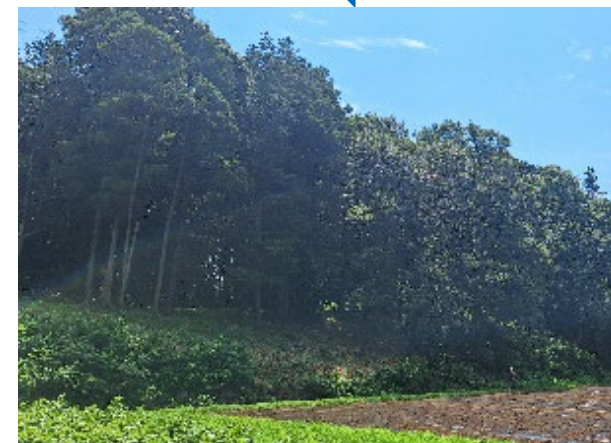
緑地保全制度による新規指定

49.5 (32.1) ha

宅地内雨水貯留タンク設置助成

194 (105) 件

本編 p. 48～



追分特別緑地保全地区  
(旭区)

## 基本施策4 都市農業

- 持続できる都市農業の推進
- 市民が身近に農を感じる場づくり

### 環境目標の達成状況

( ) 内は2023年度値

市民・企業等と連携した地産地消の推進

52 (56) 件

市内産農畜産物の購入機会の拡大

62 (66) 件

様々な市民ニーズに合わせた農園面積

104.3 (100.9) ha

本編 p. 54～



「はまふうどコンシェルジュ」  
(地産地消の案内人) の育成

## 基本施策5 資源循環

- 安定的なごみ処理の継続と啓発等による3Rの推進
- 温室効果ガスを多く排出するプラスチック焼却量の削減

環境目標の達成状況		（）内は2023年度値	
ごみと資源の総量	110.7	(112.0) 万t	→ 2009年度比 13.2%減
産業廃棄物最終処分量※	27.2	(13.8) 万t	

※ 数値は2023年度、（）内は2022年度値

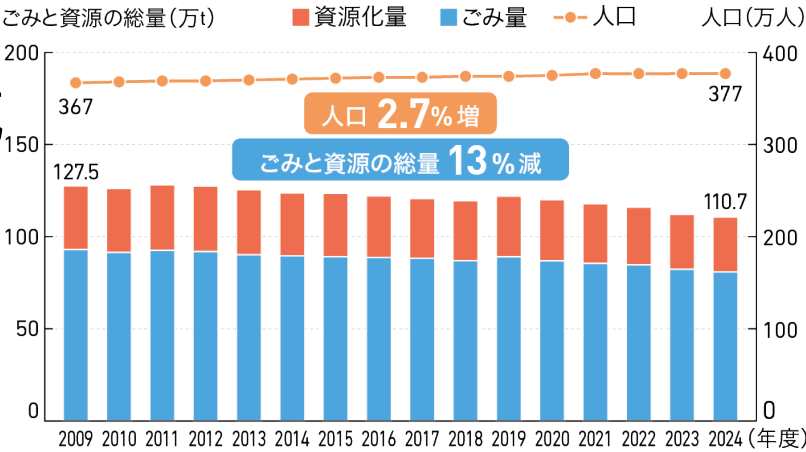
## 基本施策6 生活環境

- 法令に基づく規制・指導等を通じた生活環境の保全

環境目標の達成状況		○/○は達成地点数/調査地点数	
大気	二酸化窒素	27/27※	
	光化学オキシダント	0/19	
水質（河川）	BOD	19/21	
	生物指標	35/38（2022-2023年度調査）	
	COD	5/7	
（海域）	全窒素	6/7	
	全りん	3/7	

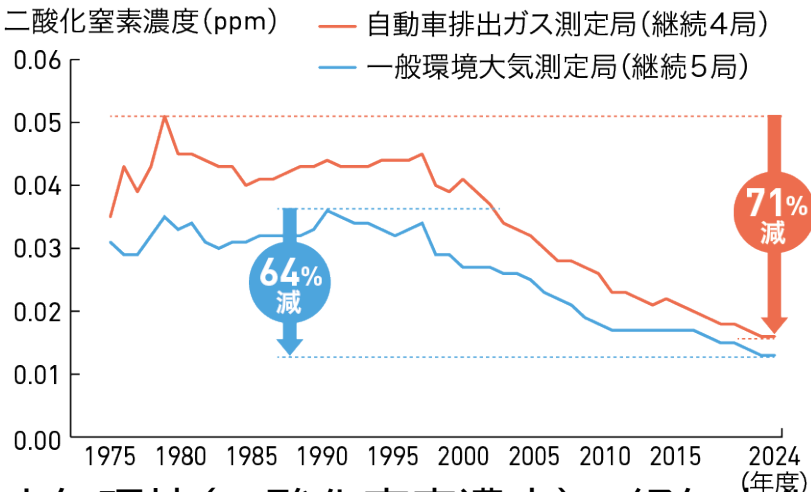
※環境基準の下限値（1時間値の日平均値0.04ppm）で評価

本編 p. 60～



ごみと資源の総量及び人口の推移

本編 p. 66～



大気環境(二酸化窒素濃度)の経年変化

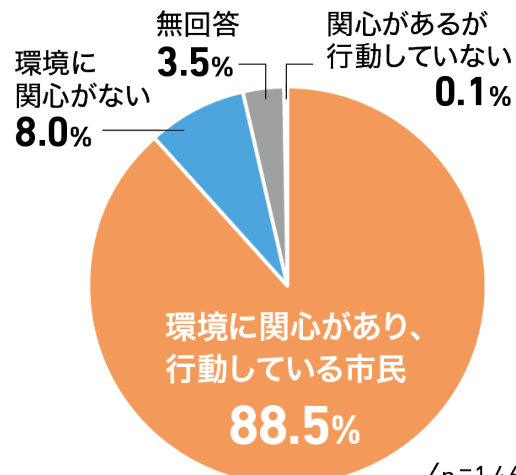


## 基本施策7 環境教育・学習

本編 p. 74～



- 「環境に関心があり、行動している」市民の割合は8割超
- 体験を重視した環境教育出前講座などの環境を学ぶ場の創出
- 学校教育において、持続可能な社会の創り手の育成（ESD）を推進



環境に関心があり、行動している市民の割合  
(出典) 2025年環境に関する市民意識調査  
(n=1,469)



環境学習プログラムを  
利用した出前教室



横浜市ESD推進コンソーシアム  
交流報告会

### 環境目標の達成状況

環境に関心があり、行動している市民

88.5 (82.5) %

環境教育出前講座参加者数

8,376 (7,542) 人

ESDを教育課程に位置づけ教育活動を行っている学校数

全市立小中学校 485 (485) 校

( ) 内は2023年度値

# 年次報告書について

# 年次報告書について

## 位置付け

条例に基づき、横浜の環境の状況、環境管理計画に基づき実施された施策の状況等についてとりまとめ、公表する  
市民・事業者に、分かりやすく環境の取り組みを伝える

## 公表方法

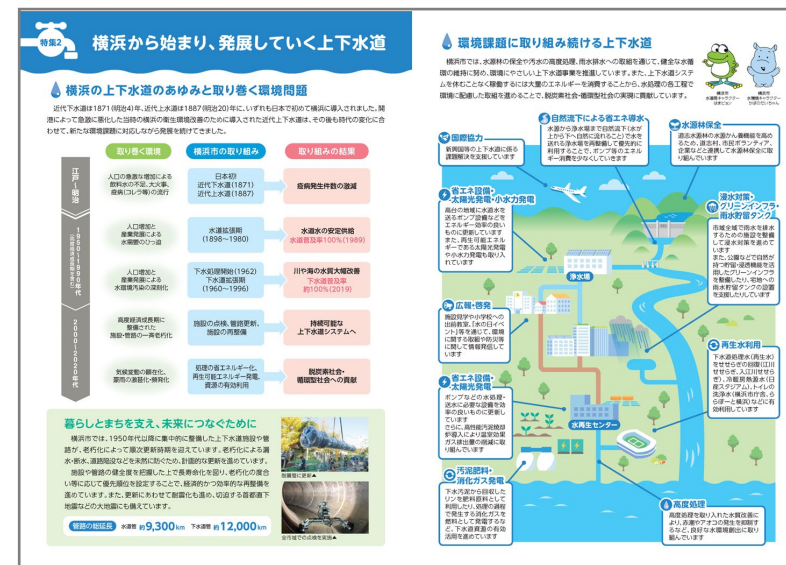
本編、概要版、資料編を市ウェブページで公開  
※本編・概要版は市民情報室、市立図書館、区広報相談係にて閲覧可能

## 構成

特集	横浜の環境のいま
本編	横浜市環境管理計画の推進状況・コラム
参考資料	意識調査結果概要版



## 2 横浜から始まり、発展していく上下水道



- 1 環境と人・地域社会
  - ・ 環境と共生する生活・社会を目指し若者たちがアクション！  
「ヨコハマ未来創造会議」
  - ・ 地域で多様な主体による環境教育が行われています  
(環境活動賞)
- 2 環境と経済
  - ・ 中小企業の脱炭素化に向けた行動変容を支援します！  
「脱炭素取組宣言制度」を創設
- 3 環境とまちづくり
  - ・ 循環型社会を目指して  
日本初「地区の資源循環の可視化」を開始！

# コラム 環境側面からの基本施策

- 1 地球温暖化対策
  - ・ クールシェアスポットで熱中症予防！
- 2 生物多様性
  - ・ 世界のユースが横浜市で生物多様性を考える！
  - ・ 熱帯林と生物多様性の大切さを発信し、日々の暮らしでの環境にやさしい消費行動の実践を呼びかける（協定締結）

[生物多様性横浜行動計画]
- 3 水とみどり
  - ・ GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）
- 4 都市農業
  - ・ 農のコーディネーター事業～“ほんもの”にふれる授業
- 5 資源循環
  - ・ 学生が「ごみの分別」などの広報啓発作品を制作！
  - ・ 「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を発足！
- 6 生活環境
  - ・ 環境法令に関する手続のデジタル化を促進！
- 7 環境教育・学習
  - ・ 教職員・生徒と企業等が交流してSDGs 達成の担い手を育成！
  - ・ 環境情報紙「エコチル」を発行する(株)アドバコムと連携協定

[環境教育等行動計画]

明日をひらく都市

OPEN  PIONEER

YOKOHAMA